

[参考資料]

レトロで大湯温泉に賑わいを取り戻す！

尾瀬ルート活性化委員会では、県、魚沼市及び関係機関との協働により、人が触れ合う、賑わう温泉街の復活を目指して、「レトロ調の温泉街」をバックグラウンドに、レトロコレクション展示店を第一歩として賑わいを呼び戻し、地域の活性化を目指します。

活動・支援組織

【尾瀬ルート活性化委員会】

平成18年に発足、温泉組合、観光事業者、県、魚沼市等の9団体及び個人参加者で構成され、尾瀬の玄関口である魚沼ルートや開湯千三百年の歴史ある大湯温泉などの湯之谷温泉郷を核として誘客推進を図る団体（会長：栃尾又温泉自在館の星雅彦氏）。6部会で構成され、尾瀬への新潟県からの独自ルートとなる「小沢平登山道の整備」や、玄関口である湯之谷温泉郷の地域ブランド向上のため、「開高めし」、「巨木マップ」、「シルバーライントンネルマップ」等、様々な活動を展開している。

昨年より広報戦略として地域をPRする「ザ・サブローズ」を結成し、SNSによる新たな広報活動にも取り組んでいる。



委員会によるトクサ沢（小沢平峠）の架橋

【魚沼レトロ化計画】

数万点に及ぶ県内最大規模のレトロコレクターである桜井治氏のコレクションを誘客に活用することを目的とした市民グループ（代表：民宿喜楽荘経営 榎本健二氏）で会員は10名程度。桜井氏は少年時より玩具や映画ポスターなどの収集を始め、コレクションを誘客のコンテンツに活用しようと榎本氏と共同で設立。コレクションは玩具コレクターで知られる、北原照久鑑定士からも絶賛されている。県内では魚沼市内に3カ所、南魚沼市の1カ所で展示を行っており、収集家の桜井氏の方針で、コレクションに触れて、聞いて、読んで、遊ぶことができる、全国でも稀有な展示館となっている。桜井氏はFMうおぬまにもレギュラーで出演し、レトロの魅力などについて情報発信を行っている。



レトログッズ

【新潟県地域づくりサポートチーム（魚沼地域振興局）】

地域課題の解決に向けた住民の主体的な取組を後押しする取組として、新潟県魚沼地域振興局と魚沼市の職員で構成されたチーム。令和5年度より魚沼レトロ化計画と大湯地区へのサポートを展開している。

魚沼レトロ化計画のNPO法人化の検討や、イベント実施方法、展示施設のレイアウト、地域関係者との調整等、組織の自走化に向けたサポートを行っている。

※ 過去の取組事例

大湯温泉活性化委員会の製造する大湯温泉の成分を使用したハンドソープ「大湯の泉」の開発企画支援(令和元年度～4年度)



サポートチーム活動風景

将来構想

小出駅周辺での展開

只見線の起点となるJR小出駅の周辺にレトロ店舗を設置し、電車の待ち時間を活用したまち歩きへと誘います。

大湯温泉地区との連携

郷愁豊かな温泉郷の各施設を活用し、温泉郷自体をレトロ調で一体感のある景観の形成による、歩いてみたい街並みを目指します。

周遊観光による誘客拡大

魚沼市内にあるレトロ施設（小出、入広瀬）、県内外のレトロ施設との連携による、周遊観光の旅行商品化などを目指します。